

民衆の
声
ボイス

No.93

VOICEよこはま

公明党 横浜市会ニュース

http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com 公明党横浜市会議員団 〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 TEL.671-3023 FAX.681-2060

コロナ感染症対策で187億円の補正予算が実現しました

国でのコロナ対策第2次補正予算を受け、横浜市会でも約187億円の補正予算が成立しました。

感染の第2波に備えた万全の医療提供体制、横浜経済と市民生活を守る支援、学校再開や「新しい生活様式」の構築へ、集中的な審議を行い施策の充実を図りました。



《今回の定例会で決定した主な施策》

● 検査体制を強化

《ドライブスルー PCR 検査を14か所に拡大、身近な診療所および往診による検査も実施。抗原検査を含めた検査費用の無償化。》

● 「新しい生活様式」を支援

《中小事業者のテレワークの導入や感染拡大防止のための施設改修、機器購入へ補助金を支給。》

● 観光・MICEの回復へ

《市内観光・宿泊の促進へ旅行商品の割引や宿泊クーポンなど、販促プロモーションを実施。》

● 生活の困難に寄り添う

《ひとり親世帯への臨時特別給付金の支給、フードバンクを活用した食料提供、横浜市大学生への授業料減免など、経済的に困窮している方々を支援。自立支援の体制を強化。》

● 災害避難所の備蓄を強化

《アルコール消毒液、マスク、簡易間仕切り、段ボールベッド、体温計などを調達。》


● 妊産婦の支援を充実

《希望者全員にPCR検査の実施、特定不妊治療費助成の拡充、産後ヘルパーの利用費用の助成など。》


● 児童生徒の学びを支援

《全487校に非常勤講師、職員室業務アシスタントなどを追加配置。学校に応じて必要な感染防止資機材を追加購入。》

新型コロナウイルス感染症関連
《横浜市支援メニュー》



市民の
皆さまへ



事業者の
皆さまへ

「性犯罪・性暴力対策の強化を求める意見書」を提出へ

佐々木さやか参院議員の国会質問をきっかけに2017年6月に110年ぶりに性犯罪に関する刑法が改正、厳罰化が図られました。

法改正時の附帯決議に定めた見直しの期限を迎えるにあたり、公明党横浜市議団は関係団体からの要望を踏まえ、再犯防止や被害者支援、性暴力根絶に向けて、さらに踏み込んだ措置を求める意見書の提出をリードしました。

横浜市会として7月7日の本会議にて、全会一致で意見書が採択されました。



参院法務委員会での性犯罪の厳罰化を訴える佐々木さやか参院議員(2017年6月)

望月やすひろ通信 市政報告 Vol.49

令和2年第2回定例会における論戦より



横浜市議員(港北区選出) 望月やすひろ

新型コロナウイルス感染症対策の第2次補正予算案をめぐり、公明党市会議員団は、議案関連質疑と一般質問において、市長・教育長等へ質疑や要望を行いました。

■PCR検査体制の強化について
第2波に備えるためには、感染が疑われる市民の方が迅速にPCR検査を受けられる検査体制を整備しておくことが重要です。そこで、今後のPCR検査体制の強化について質問しました。

市長は、今後は、市民の皆様が、かかりつけ医などの診断により、感染の疑いがあれば、身近な場所で検査が受けられる体制を拡充する。これにより早期発見につなげ、第2波の感染拡大の防止に努めていくと答弁しました。

■コロナ禍でも安心の介護へ
介護施設等の利用者・職員が感染した場合のサービス提供体制、職員の自宅待機など、様々な問題が初めての経験で「判断に迷う」との声が多く聞かれました。そこで、判断基準や施設等の現状にあった対策の提示、他施設への職員応援体制など、市の積極的な関わりを要望しました。

市長は、「安心して頂けるよう、具体的に示し、きめ細かく取り組む」と答弁しました。最前線の方々に感謝しながら、市民の安全安心への取組みを進めます。

■コロナ対応に伴う暑さ対策について
市立学校は、授業時数確保の点から、夏休みが短縮され、7月及び8月下旬にも授業が行われます。児童生徒の暑さ対策はもちろんです。市内小学校の給食室には休憩室を除いて原則、空調設備が設置されていないと聞いています。直営・民営に関わらず、給食調理に従事する職員の暑さ対策は非常に重要です。そこで、給食調理員の暑さ対策の現状と今後の取組について質問しました。

教育長は、「学校の実情に応じて、今回の補正予算を活用して、冷却ペストの購入やスポットクーラーを設置するなど、暑さ対策を強化する」と答弁しました。

命を守るために風水害や地震に備えましょう



熊本を襲った記録的な豪雨は、各地に甚大な被害をもたらしました。犠牲になられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様方に心よりお見舞いを申し上げます。

2年前の西日本豪雨で甚大な浸水被害が出た倉敷市真備町では実際の浸水域が予測浸水域とほぼ重なり、ハザードマップの有用性が改めて実証されました。今回の河川氾濫地域でも浸水域、浸水の深さもほぼ一致していました。命を守るために、自宅周辺に浸水や土砂災害など、どんな危険があるのかを各種ハザードマップで確認しておくことが大切です。

■港北区防災情報アプリ
各種ハザードマップや、避難勧告や気象情報の発表、地域防災拠点等の避難所までのルート検索や、万が一の災害時に区内避難所の開設状況もわかる区の公式防災アプリ「港北区防災情報アプリ」があります。

ダウンロードは無料で、スマートフォンやタブレット端末で防災情報を必要な時に得ることができます。日頃の備えとして、このアプリをダウンロードし、ご活用いただきたいと思います。

「港北区防災情報アプリ」で検索！
iOS端末は App storeから
Android端末は Google Playから

救急相談センター

急な病気やけがで困ったら……。24時間365日体制で救急電話相談および、受診可能な医療機関の案内サービス。

赤ちゃんから高齢者まで ☎ #7119

踏切解消で利便性向上



遠山きよひこ議員らと相鉄線高架化事業の進捗を確認

7月3日、遠山きよひこ衆院議員、三浦のぶひろ参院議員とともに、相鉄線・星川駅（保土ヶ谷区）を訪問し、連続立体交差事業の進捗状況を視察しました。

「開かずの踏切」を解消し、地域交通の円滑化を図る同事業は、公明党が政府に働き掛けて実現したもので、1.9キロの高架化で9か所の踏切が解消されました。

遠山議員らは同日、再開発が進む二俣川駅（旭区）も視察しました。



市民の心身の健康増進へ

6月24日、リニューアルオープンした新横浜スケボー広場を訪問しました。スケートボードが東京2020オリンピック正式種目に採用されたことから、パーク型への改修を行ったものですが、アマチュアプレイヤーから強化選手も集い、「世界有数のパークに劣らないクオリティです」と評価も高く、オープン初日から賑わっています。



コロナ禍を超え賑わいの復興へ

6月6日、三浦のぶひろ参院議員とともに横浜・八景島シーパラダイスを訪問し、来場者の感染症対策、休業による雇用や運営への影響について意見交換を行いました。松田心副総支配人より「遠方からの集客が期待できない分、地元や近隣の皆さまに安心して楽しんで頂ける施設にします」と賑わいの復興への決意も伺いました。



皆さまの、いちばん近くで動く、働く。横浜市会公明党です。

2020年5月 新しい構成により議会がスタート

 高橋 正治 (緑区) ● 国際・経済・港湾委員会 ● 大都市行政制度特別委員会	 安西 英俊 (港南区) ● 健康福祉・医療委員会副委員長 ● 郊外部再生・活性化特別委員会 ● 市会運営委員会理事 ● 神奈川県後援高齢者医療広域連合議会議員	 中島 光徳 (白旗区) ● 水道・交通委員会副委員長 ● 減災対策推進特別委員会	 行田 朝仁 (青葉区) ● 水道・交通委員会 ● 基地対策特別委員会 ● 市会運営委員会副委員長	 尾崎 太 (鶴見区) ● 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会副委員長 ● 大都市行政制度特別委員会	 望月 康弘 (港北区) ● 建築・都市整備・道路委員会副委員長 ● 新たな都市活力推進特別委員会 ● 神奈川県後援高齢者医療広域連合議会議員	 斉藤 伸一 (保土ヶ谷区) ● こども青少年・教育委員会副委員長 ● 減災対策推進特別委員会	 竹内 康洋 (神奈川区) ● 政策・総務・財政委員会 ● 大都市行政制度特別委員会副委員長
 久保 和弘 (瀬谷区) ● 国際・経済・港湾委員会 ● 郊外部再生・活性化特別委員会 ● 市会運営委員会	 木内 秀一 (旭区) ● 健康福祉・医療委員会 ● 減災対策推進特別委員会 ● 議会広報会議	 竹野内 猛 (金沢区) ● 温暖化対策・環境創造・資源循環委員会 ● 減災対策推進特別委員会副委員長	 斎藤 真二 (都筑区) ● こども青少年・教育委員会 ● 健つくりスポーツ推進特別委員会 ● 神奈川県内広域水運企業団議会議員 ● 神奈川県議会議員	 福島 直子 (中区) ● 市民・文化観光・消防委員会副委員長 ● 新たな都市活力推進特別委員会	 源波 正保 (泉区) ● 政策・総務・財政委員会副委員長 ● 基地対策特別委員会	 加藤 広人 (磯子区) ● 建築・都市整備・道路委員会 ● 基地対策特別委員会副委員長	 仁田 昌寿 (南区) ● 市民・文化観光・消防委員会 ● 健康つくりスポーツ推進特別委員会

横浜の音楽文化を護る

7月2日、一般財団法人横浜JAZZ協会の中川明理事長、ならびに市内でライブハウスを営む株式会社インセクトノイズの榎江茂起代表取締役らと懇談しました。中川理事長は「1993年から続いている横浜ジャズプロムナードについて、「コロナ下でジャズバンドの練習も十分にできず、これまで通りの開催が困難」と語り、横浜市への支援に期待を寄せました。



介護現場を守り、支える

7月7日、三浦のぶひろ参院議員とともに、「コロナ下での介護現場の課題をめぐり、横浜市みなと介護福祉事業協同組合・日高淳理事長との意見交換を行いました。



横浜新市庁舎が移転オープン



住所：〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
アクセス：みなとみらい線「馬車道駅」1C出口直結
JR・市営地下鉄「桜木町駅」徒歩3分